

SuperPanel for ASP.NET Web Forms

2018.04.10 更新

グレースィティ株式会社

目次

製品の概要	2
ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ	2
主な特長	3
クイックスタート	4
手順 1: アプリケーションの作成	4
手順 2: コントロールへのコンテンツの追加	4-6
手順 3: コードによる混合スクロールモードの作成	6-7
手順 4: コントロールへのアニメーション効果の追加	7
デザイン時のサポート	8
スマートタグ	8
外観	9
CSS セレクタ	9-10
テーマ	10-11
クライアント側の機能	11
クライアント側イベント	11-12
タスク別ヘルプ	13

製品の概要

SuperPanel for ASP.NET Web Forms は、インタラクティブなコンテンツをアプリケーションに追加する最適な方法です。カスタムのスクロール、サイズ変更、角の丸み、およびドロップシャドウを Web アプリケーションのどんなパネルにも追加します。

ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ

ComponentOne for ASP.NET Web Forms の各コントロールで共通したトピック、アセンブリの追加、テーマの適用、クライアント側情報などについては「[ASP.NET Web Forms ユーザーガイド](#)」を参照してください。

主な特長

SuperPanel for ASP.NET Web Forms は、以下の独特な主要機能を備えています。

- **角の丸み**

Web アプリケーションで角の丸みをデザインした経験があれば、それがどんなに難しいものかわかります。

SuperPanel を使用すれば、角の丸みは簡単に作成でき、ボックスのサイズに制限がありません。各角はパネルと共に流動的に動作して移動します。角の丸みをパネルに追加する操作は1つのプロパティを設定するだけです！

- **リサイズ可能**

SuperPanel では、オプションとして、エンドユーザは好みに合わせてサイズ変更できます。有効にすると、ユーザーは端や角をつかんでボックスを設定したいサイズまでドラッグできます。これは、Web アプリケーションにカスタマイズ可能なレイアウトを追加する優れた機能です。超小型や超大型画面の解像度の場合にも便利な機能です。SuperPanel は、流動的なレイアウトもサポートし、コンテンツの大きさに合わせて拡大します。

- **クライアント側スクロール API**

JavaScript API を使用して、パネルの任意の位置にスクロールします。この API を呼び出すには、(X,Y) 座標、現在の位置からの (X,Y) オフセット、またはターゲットの DOM 要素を指定します。この API は、大型のグラフィックス、地図、グラフ、さらには非常に長いコンテンツのナビゲートにも優れています。

- **テンプレートコントロール**

asp:Panel コントロールと同様に、SuperPanel は任意の HTML マークアップや ASP.NET コントロールを組み込むことができます。テンプレート内に配置された任意のコントロールも、コードビハインドでアクセス可能です。コントロールは実行時にも Controls.Add() メソッドを使用して追加できます。SuperPanel は、多数の付加機能を備えた各 asp:Panel と同様に簡単に使用できます。

- **カスタムスクロールバー**

SuperPanel は、カスタムスクロールバーを備えており、Windows 固有のスクロールバーの代わりにします。これらのカスタムスクロールバーは、通常の Windows スクロールバーと同様に、スクロール位置が同期されます。各スクロールバーの動作(それぞれ水平と垂直バー)を指定できます。オプションは Hidden、Visible、および Auto です。スクロールバーの配置も指定できます。垂直スクロールバーを SuperPanel の左側または右側に、水平スクロールバーは SuperPanel の上部または下部に配置します。

- **テーマ**

スマートタグをクリックするだけで、6種類のプレミアムテーマ(Arctic、Midnight、Aristo、Rocket、Cobalt、および Sterling)のいずれかを選択して外観を変更します。オプションとして、jQuery UI からThemeRoller を使用してカスタマイズしたテーマを作成します。

クイックスタート

SuperPanel クイックスタートでは、ASP.NET コントロールである SuperPanel の基本的な使用方法を説明します。このクイックスタートでは ASP.NET アプリケーションを作成して、コンテンツを **SuperPanel** に追加します。

手順 1: アプリケーションの作成

このトピックでは、ASP.NET Web サイトを作成し、**C1SuperPanel** コントロールを Default.aspx ページに追加します。

1. まず、ASP.NET Web アプリケーションを作成します。
2. コントロールをツールボックスに追加します。
3. 「デザイン」タブを選択します。
4. Visual Studio ツールボックスに移動し、**C1SuperPanel** アイコンをダブルクリックしてこのコントロールをページに追加します。
デフォルトでは、C1SuperPanel の幅はページに合わせて自動的に拡大されます。C1SuperPanel タグがソースコードに追加されます。

ソースビュー

```
<cc1:C1SuperPanel ID="C1SuperPanel1" runat="server">
  </cc1:C1SuperPanel>
```

アプリケーションを実行して、以下を確認します。

C1SuperPanel コントロールの右下角をクリックし、マウスでコントロールを左上角までドラッグして、サイズを縮小します。

手順 2: コントロールへのコンテンツの追加

C1SuperPanel コントロールへのコンテンツの追加は、コントロールの本体をクリックして、テキストを入力したり、コントロールを追加したりするだけでできます。以下の各手順では、「[手順 1: アプリケーションの作成](#)」トピックを完了したものと想定しています。

コンテンツを C1SuperPanel に追加するには、次の各手順を実行します。

1. ソースビューで、<div> タグ内に次のマークアップを追加し、elements クラスを作成して、**C1SuperPanel** コントロール内に表示される各要素のスタイルを取得します。

ソースビュー

```
<div class="elements">
  <div style="padding: 25px;">
```

2. <cc1:C1SuperPanel> タグ内に次のタグを追加し、ボタンとテキストを追加して、**Height** と **Width** プロパティを設定します。

ソースビュー

```
Width="300px" Height="300px"
```

3. ソースビューで、<ContentTemplate></ContentTemplate> タグを <cc1:C1SuperPanel> </cc1:C1SuperPanel> タグ内部に追加して、C1SuperPanel のコンテンツテンプレートを作成します。タグ内に、コンテンツテンプレート内の各要素のスタイルを定義するクラスを作成します。ソースコードは、次のようになるはずです。

ソースビュー

```
<ContentTemplate>
  <ul class="elements" style="height: 1011px; width: 1820px;">
<li><p>0</p><a href="#" title="" class="back">前へ</a></li>
<li><p>1</p><a href="#" title="" class="back">前へ</a></li>
```

```
<li><p>2</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>3</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>4</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>5</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>6</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>7</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>8</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>9</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>10</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>11</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>12</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>13</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>14</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>15</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>16</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>17</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>18</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>19</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>20</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li id="t1"><p>21</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>22</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>23</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>24</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>25</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>26</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>27</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>28</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
<li><p>29</p><a href="#" title="" class="back">前</a></li>
</ul>
</ContentTemplate>
</cc1:C1SuperPanel>
</div>
</div>
```

4. 次のスタイルマークアップを、ドキュメントの上部の<head> タグと<head> タグの間に追加します。

ソースビュー

```
<style type="text/css">
    .elements ul
    {
        padding: 0px;
        margin: 0px;
    }
    .elements ul li {
        background-color:#DDDDDD;
        border:1px solid black;
        font-weight:bolder;
        height:100px;
        padding:50px;
        position:relative;
        text-align:center;
        width:200px;
    }
    .elements li {
```

```
float:left;
list-style: none none outside;
}
</style>
```

5. デザインビューで、C1SuperPanel のコンテンツテンプレート内の各要素がスタイル設定されていることに注意してください。

アプリケーションを実行して、以下を確認します。

この手順では、コンテンツをC1SuperPanel コントロールに追加しました。次の手順では、C1SuperPanel のスクロール設定をカスタマイズします。

手順 3:コードによる混合スクロールモードの作成

C1SuperPanel は、ScrollBar、Buttons、ButtonsHover、および Edge の4つのスクロールモードを提供します。任意の4つのスクロールモードを組み合わせて混合モードを作成できます。以下の各手順では、C1SuperPanel の混合スクロールモードを作成します。以下の各手順では、「[手順 2:コントロールへのコンテンツの追加](#)」トピックを完了したものと想定しています。

1. コードファイルのページの上部に、**C1.Web.UI.Controls.C1SuperPanel** 名前空間ディレクティブを宣言します。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

```
Imports C1.Web.Wijmo.Controls.C1SuperPanel
```

C# コードの書き方

C#

```
using C1.Web.Wijmo.Controls.C1SuperPanel;
```

2. コードファイルで、次のコードを **Page_Load** イベントに追加して、C1SuperPanel のスクロールモードを設定します。この場合、スクロールバーモードとスクロールボタンモードを混合して使用します。

Visual Basic コードの書き方

Visual Basic

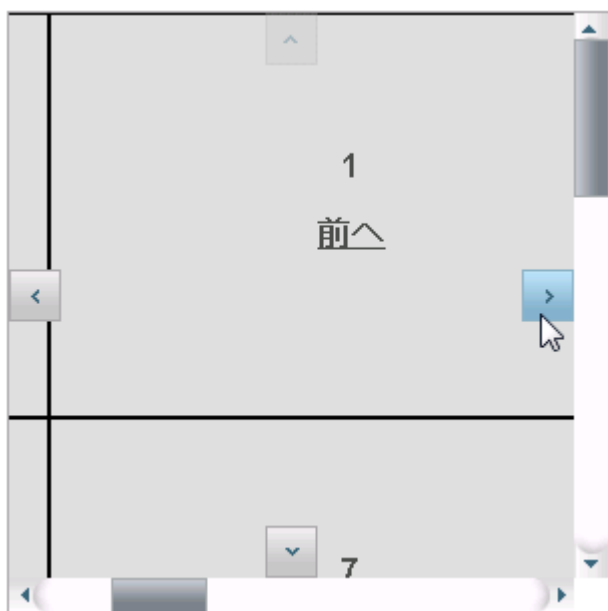
```
Me.C1SuperPanel1.HScroller.ScrollMode = ScrollMode.ScrollBar Or
ScrollMode.Buttons;
Me.C1SuperPanel1.VScroller.ScrollMode = ScrollMode.ScrollBar Or
ScrollMode.Buttons;
```

C# コードの書き方

C#

```
this.C1SuperPanel1.HScroller.ScrollMode = ScrollMode.ScrollBar |
ScrollMode.Buttons;
this.C1SuperPanel1.VScroller.ScrollMode = ScrollMode.ScrollBar |
ScrollMode.Buttons;
```

3. **[F5]**を押して、アプリケーションを実行します。水平と垂直スクロールに表示される矢印ボタンとスクロールバーを確認します。また、スクロールボタンをクリックまたはホバーしたときや、スクロールバーを使用したときに水平または垂直スクロールが実行されることに注意してください。



この手順では、コントロールの水平と垂直スクロール設定をカスタマイズしました。次の手順では、アニメーション効果をコントロールに追加します。

手順 4: コントロールへのアニメーション効果の追加

C1SuperPanel は、C1SuperPanel 上で水平または垂直スクロールを実行する際の複数の組み込みスクロールアニメーション効果を備えています。これらの効果を設定するには、**AnimationOptions.AnimationEasing** プロパティを使用します。以下の各手順では、バウンドアニメーション効果を水平と垂直スクロールに追加します。また、スクロールアニメーションの持続時間を延長するには、**AnimationOptions.AnimationDuration** プロパティの値を増加します。以下の各手順では、「[手順 3: コードによる混合スクロールモードの作成](#)」トピックを完了したものと想定しています。

以下の手順を実行します。

1. Web ページで **C1SuperPanel** を選択してから、プロパティウィンドウに移動します。
2. **PanelBehaviorSettings** ノードを拡張して、もう1つのプロパティリストを表示してから、以下を実行します。
 - **AnimationOptions.AnimationEasing** プロパティを `EaseinBounce` に設定します。このプロパティは、スクロールのアニメーションの遷移効果を決定します。
 - **AnimationOptions.AnimationDuration** プロパティを `1500` に設定します。これによってアニメーション効果の持続時間が延長されるため、プロジェクトをビルドしたときに効果が目に見えるようになります。
3. **[F5]**を押して、アプリケーションを実行します。**C1SuperPanel** コントロール内でスクロールしたときのバウンド効果に注意してください。

おめでとうございます。このクイックスタートは完了しました。

デザイン時のサポート

C1SuperPanel は、充実したデザイン時サポートを提供するカスタマイズされたコンテキストメニューやスマートタグを備えており、オブジェクトモデルの操作が簡素化されています。

以下の各セクションでは、**C1SuperPanel** のデザイン時環境を使用して C1SuperPanel コントロールを設定する方法を説明します。

スマートタグ

Visual Studio では、C1SuperPanel コントロールはスマートタグを備えています。スマートタグは、C1SuperPanel で最もよく使用されるプロパティを提供するショートカットメニューを表します。

[**C1SuperPanel タスク**]メニューにアクセスするには、C1SuperPanel コントロールの右上端にあるスマートタグ()をクリックします。これによって、[**C1SuperPanel タスク**]メニューが開きます。

[**C1SuperPanel タスク**]メニューは次のように動作します。

- テーマ**
 [テーマ]のドロップダウンボックスでは、**Theme** プロパティを設定し、**C1SuperPanel** コントロールの外観を5つの定義済みテーマの1つに変更できます。デフォルトでは、これは **Aristo** テーマに設定されます。使用可能な視覚スタイルについての詳細は、「[テーマ](#)」を参照してください。
- 新しいテーマの作成**
 [新しいテーマの作成]オプションをクリックすると、**ThemeRoller for Visual Studio** が開きます。したがって、開発環境内でテーマをカスタマイズすることができます。アプリケーションで **ThemeRoller for Visual Studio** を使用する方法については、「[ThemeRoller for Visual Studio](#)」を参照してください。
- CDN の使用**
 [CDN の使用]チェックボックスを ON にすると、CDN からクライアントリソースがロードされます。これはデフォルトで OFF です。
- CDN パス**
 CDN の URL パスを表示します。
- Bootstrap の使用**
 [Bootstrap の使用]オプションを選択すると、コントロールに Bootstrap テーマを適用することができます。アプリケーションで Bootstrap テーマを使用する方法については、「[Bootstrap for ASP.NET Web Forms クイックスタート](#)」を参照してください。
- バージョン情報**
 [バージョン情報]項目をクリックすると、製品のバージョン情報を確認できるダイアログボックスが表示されます。

外観

Superpanel の外観は、組み込みテーマまたは CSS スタイルによって制御されます。Superpanel のテーマは、ツールチップヘッダーやツールチップコールアウトなど、すべての SuperPanel 要素の外観に影響を及ぼします。

C1SuperPanel は、ユーザーがカスタマイズしやすいように設計されています。デフォルトの外観を数限りなくさまざまに変更できます。

CSS スタイルを適用して、**C1SuperPanel** の要素を変更できます。**C1SuperPanel** には、**CSSClass** プロパティの横のドロップダウン矢印をクリックすると表示されるいくつかの組み込み CSS セレクタが用意されています。

CSS セレクタ

CSS を使用して **C1SuperPanel** の任意の要素をスタイル設定し、その外観を完全に独自にカスタマイズできます。ComponentOne for ASP.NET Web Forms には、6つの組み込みテーマごとに CSS セレクタが含まれています。

背景、テキスト、フォント、枠線、輪郭、マージン、埋め込み、リスト、表などの一般的な CSS プロパティを該当する CSS セレクタに適用できます。

一般的な個別 CSS セレクタやグループ化した CSS セレクタのリストについては、プロジェクトの **C1SuperPanel** コントロールを選択して、**C1SuperPanel Visual Studio** プロパティウィンドウで **CssClass** プロパティの横のドロップダウンリストを表示します。

以下の表では、一般に使用される個別 CSS セレクタとグループ CSS セレクタを詳しく説明します。複数の個別 CSS セレクタを組み合わせると、CSS セレクタをより具体的かつ強力なものにできます。グループ CSS セレクタは、**C1SuperPanel** の複数の要素のスタイルを定義します。

CSS セレクタ	説明
.wijmo-wijsuperpanel	このスタイルを C1SuperPanel コントロールに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-button	このスタイルを C1SuperPanel のボタン要素に適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-contentwrapper	このスタイルを C1SuperPanel の contentwrapper に適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-handle	このスタイルを C1SuperPanel のハンドル要素に適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-hbar-buttonleft	このスタイルを C1SuperPanel の水平バーの左ボタンに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-hbar-buttonleft-ui-state-hover	このスタイルを C1SuperPanel のホバー状態の水平バーの左ボタンに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-hbar-buttonright	このスタイルを C1SuperPanel の水平バーの右ボタンに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-hbar-buttonright ui-state-hover	このスタイルを C1SuperPanel のホバー状態の水平バーの右ボタンに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-hbarcontainer	このスタイルを C1SuperPanel の水平バーコンテナに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-helper	このスタイルを C1SuperPanel のヘルパーに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-statecontainer	このスタイルを C1SuperPanel の statecontainer に適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-templateouterwrapper	このスタイルを C1SuperPanel の templateouterwrapper に適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-vbar-buttonbottom	このスタイルを C1SuperPanel の垂直バーの下端ボタンに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-vbar-buttonbottom ui-state-hover	このスタイルを C1SuperPanel のホバー状態の垂直バーの下端ボタンに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-vbar-buttontop	このスタイルを C1SuperPanel の垂直バーの上端ボタンに適用します。

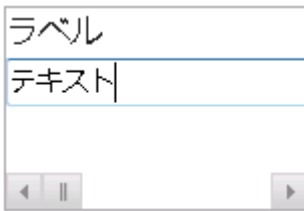
.wijmo-wijsuperpanel-vbar-buttontop ui-state-hover	このスタイルを C1SuperPanel のホバー状態の垂直バーの上端ボタンに適用します。
.wijmo-wijsuperpanel-vbarcontainer	C1SuperPanel の垂直バーのコンテナに適用します。

テーマ

C1SuperPanel は、**Arctic**、**Aristo**、**Cobalt**、**Midnight**、**Rocket**、および **Sterling** の6種類の組み込みテーマをコントロールに提供しており、これらを **Theme** プロパティを設定してコントロールに簡単に適用できます。

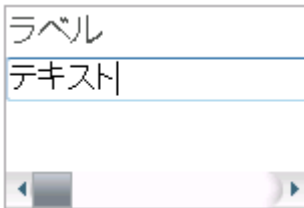
Arctic スタイル

次の画面は **Arctic** スタイルを表示しています。



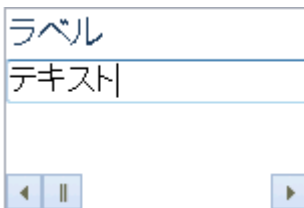
Aristo スタイル

次の画面は **Aristo** スタイルを表示しています。これは**C1SuperPanel** コントロールのデフォルト書式です。



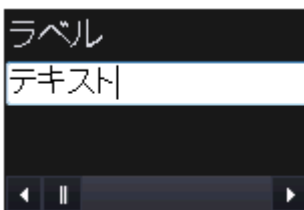
Cobalt スタイル

次の画面は **Cobalt** スタイルを表示しています。



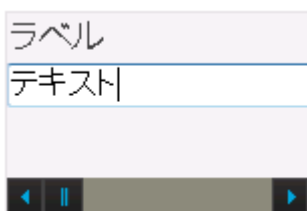
Midnight スタイル

次の画面は **Midnight** スタイルを表示しています。



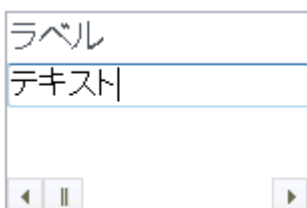
Rocket スタイル

次の画面は **Rocket** スタイルを表示しています。



Sterling スタイル

次の画面は **Sterling** スタイルを表示しています。



クライアント側の機能

C1SuperPanel のクライアント側には、非常に充実したクライアント側オブジェクトモデルがあります。そのメンバは、ほとんどがサーバー側コントロールのメンバと同じです。

C1SuperPanel コントロールが表示されると、クライアント側のツールチップのインスタンスが自動的に生成されます。これは、サーバーにPostBackしなくても、**C1SuperPanel** コントロールのプロパティやメソッドにアクセスできるということです。

C1SuperPanel のクライアント側コードを使用すれば、時間をかけて Web サーバーに情報を送信しなくても、Web ページに多くの機能を実装できます。そのため、**C1SuperPanel** のクライアント側オブジェクトモデルを使用することで、Web サイトの効率を高めることができます。

クライアント側イベント

C1SuperPanel には、ツールチップのドラッグや非表示化などのアクションが発生したときに **C1SuperPanel** コントロールを操作するためのいくつかのクライアント側イベントが含まれています。

クライアント側イベントの表にリストされたサーバー側プロパティを使用して、特定のクライアント側イベントに反応する JavaScript 関数の名前を指定できます。たとえば、「Scrolling」という JavaScript 関数をパネル内のスクロール時に反応するように割り当てるには、OnClientScrolling プロパティを Scrolling に設定します。

下の表に、クライアントスクリプトで使用できるイベントを示します。これらのプロパティはサーバー側で定義されますが、実際のイベントや各 JavaScript 関数で宣言する名前はクライアント側で定義されます。

クライアント側イベント表

イベントのサーバー側プロパティ名	イベント名	説明
OnClientDragStop	DragStop	スクロールバーのつまみボタンのドラッグが停止したときに呼び出される関数の名前。
OnClientPainted	Painted	パネルが描画された後に呼び出される関数の名前。
OnClientResized	Resized	resized イベントが発生したときに呼び出される関数の名前。
OnClientScrolled	Scrolled	スクロールが発生した後に呼び出される関数の名前。
OnClientScrolling	Scrolling	スクロールが発生する前に呼び出される関数の名

前。

タスク別ヘルプ

タスク別ヘルプは、Visual Studio のプログラミングに精通しているユーザーを対象としています。ヘルプに記述された手順に従うことによって、**SuperPanel for ASP.NET Web Forms** のさまざまな機能をデモンストレーションするプロジェクトを作成して、**SuperPanel for ASP.NET Web Forms** の用途を理解することができます。